

2017年度 北海道科学大学建築学科主催講演会

建築家、小説家 鈴木隆之 講演会

「表現空間論—建築の未来のために」を開催

建築家として、小説家として、第一線で活躍する鈴木隆之氏が、著書「表現空間論-建築/小説/映画の可能性」を上梓したことを期して同氏を本学に招き建築学科主催の講演会「表現空間論-建築の未来のために」を開催いたしました。

講演会では、同氏が、その著書で展開された建築、小説、映画を縦横に横断する思考が凝縮して語られました。講義の中で同氏は、建築に限らず様々な創作領域を柔軟に横断しながら建築を思考してみると建築がより豊かに、柔軟に構想されること、そしてそのように構想された建築は、特に我が国が直面している高齢化、少子化などを背景とした社会的萎縮傾向や、かつて構想者が常に持っていた、いや、持たねばならない自由で伸びやかな発想の芽を社会全体で摘んでしまうポリティカル コレクトネスを打破し、建築のみならず様々な文化的構想を未来に開くことができるし、今こそ、建築家は、それを目指す時である、と熱く語りました。

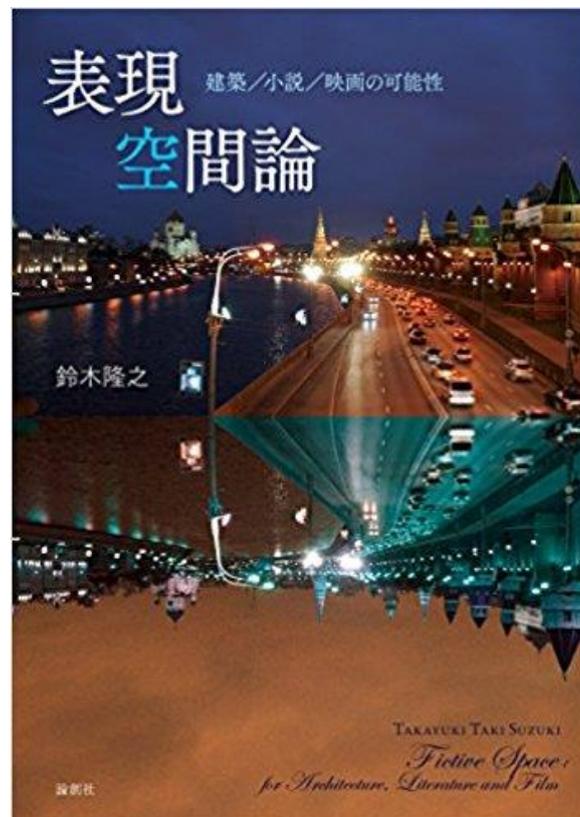
講義には、本学建築学科学生、教員をはじめ、学外からも多くの方々が参加し、建築の未来を構想するために有意義な講演会となりました。



講演会風景 多くの方々が聴講されました。



自らの思考を熱く語る鈴木隆之氏



「表現空間論-建築/小説/映画の可能性」：鈴木隆之著 論創社